

報道関係者 各位

平成22年10月4日

厚生労働省健康局結核感染症課

照会先: 感染症情報管理室長 中嶋 健介

課長補佐 林 修一郎

(電話) 03-5253-1111

内線 2389、2373

直通 03-3595-2257

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」における  
ニューデリー・メタロ・β -ラクタマーゼ 1 (NDM-1) 産生肺炎桿菌  
の検出について

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」において、ニューデリー・メタロ・β -ラクタマーゼ 1 (NDM-1) 産生肺炎桿菌が検出されましたので、ご報告いたします。

同調査におけるNDM-1産生菌の報告は、これが第1例であり、国内での報告例としては第2例です。

(検査結果)

- ・ 菌種: 肺炎桿菌 (*Klebsiella pneumoniae*)
- ・ 国立感染症研究所におけるPCR検査結果: NDM-1 型  
(既知の NDM-1 型β -ラクタマーゼ遺伝子塩基配列と完全に一致)  
※10月1日までに菌株を受領し、検査を実施した7件のうちの1件。

(背景)

- ・ 8月下旬にさいたま市民医療センターに肺炎のために入院した高齢の女性患者の、入院時に採取した尿の検体から、多剤耐性の肺炎桿菌が検出された。
- ・ さいたま市民医療センターから、さいたま市健康科学研究センターを通じて、国立感染症研究所に菌株の提供があり、検査を実施したもの。(9月上旬に送付された検体が検査不能であったが、9月16日に改めて受領した検体の検査を実施。)
- ・ 患者は現在も入院中であるが、症状は軽快している。
- ・ 現在、入院中の他の患者から、多剤耐性肺炎桿菌は検出されていない。
- ・ なお、この患者には、最近の海外への渡航歴はない。